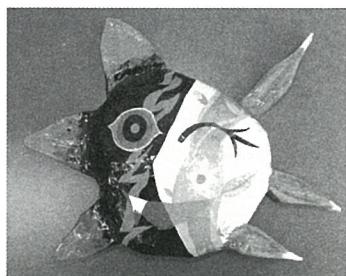


2年
物 力騰さん

『目の仮面』

※僕の作ったお面の特徴は□が開いているところです。 目はぐらませました。

2年
竹下未希子さん

『自分のお面』

成田空港
岩澤佑介

2年
岩澤 佑介さん

※空港の「港」という字が難しく、書くのに苦労しました。

あつまれみんなの力作

成田空港
平山彩

2年
平山 彩さん

※四つの文字のバランスに気をつけました。

3年
向後 夏紀さん

※行書だったのでも、つなげるところが大変でした。でも全体的によく書けました。

吹けよ春風
向後 夏紀

3年
中川 文乃さん

※書き初めはあまり書いたことがないので、すごく大変でした。

吹けよ春風
中川文乃

ひかり俳壇



児の踏みし小さき靴跡草青む
布施 和代（二又）

下萌やお遊戯会の0歳児
春の訪れを思わず暖かな一日お遊戯会
が開かれた。我関せずえんと0歳児たち
見て來て成長の一里塚を思わせる

越川せつ子（篠本）
草萌や父母の墓郷に有り
故郷を遠く離れた人たちが誰しも言う
心情である
川島重一（尾垂）
伊藤定男（木戸）

一坪の家庭菜園草青む
大谷武彦（木戸）

爪先を濡らす畠みち草青む
川島孝夫（二又）

末寺にも草萌の雨今朝あがり
大木素風（二又）

下萌のカーブは今も振り子坂
土屋美枝子（宝米）

草青む野辺に向いて深呼吸
川島孝夫（二又）

下萌や大氣の息吹地の息吹
短評

椎名しげる